

学校 避難確保計画

対象災害：土砂災害（がけ崩れ・土石流・地すべり）

【施設名： 】

年 月作成

様式編 目次

	項目	様式等	ページ
1	計画の目的	様式1	1
2	施設の概要	様式1	1
3	施設が有する災害リスク	様式1	1
4	防災体制	様式2	2～6
5	情報収集・伝達	様式3	7
6	避難誘導	様式4	8
7	避難に必要な設備の整備	様式5	9
8	避難に必要な装備品や備蓄品の整備	様式5	9
9	防災教育及び訓練の実施に関する事項	様式6	10
11	利用者緊急連絡先一覧表	様式8	12
12	緊急連絡網	様式9	13
13	外部機関等の緊急連絡先一覧表	様式10	13
14	対応別避難誘導一覧表	様式11	14
15	防災体制一覧表	様式12	15
-	避難先までの避難経路図	別紙1	18
-	タイムライン	別紙3	20

1 計画の目的

この計画は、本施設の幼児・児童・生徒の土砂災害の発生時の円滑かつ迅速な避難の確保を図ることを目的とする。

また、作成した避難確保計画に基づいて、安全な避難行動を確実に行うことができるよう、防災教育や訓練を行い、施設の職員や幼児・児童・生徒に対して、土砂災害に関する知識を深めるとともに、訓練等を通して課題等を抽出し、必要に応じてこの計画を見直ししていくものとする。

関連法：土砂災害防止法

2 施設の概要

利用形態	通所	入所
------	----	----

※利用形態を記載

※入所には、長期・短期がわかるように記載

建物の階数	階
-------	---

※建物の階数を記載

施設の人数

	平日						休日					
	幼児・児童・生徒			施設職員			幼児・児童・生徒			施設職員		
昼間	約		名	約		名	約		名	約		名
夜間	約		名	約		名	約		名	約		名

※幼児・児童・生徒数は最大の幼児・児童・生徒数を記載（おおよその幼児・児童・生徒数でもよい）

※昼間は通学部門の人数を記載

3 施設が有する災害リスク

施設において想定されている災害の種別や災害の大きさ等を記載しましょう。

水害（洪水、雨水出水、高潮、津波）

洪水浸水想定区域 （洪水）	<input checked="" type="checkbox"/> 該当なし	<input type="checkbox"/> 該当 最大浸水深	
		浸水継続時間	
		家屋倒壊等氾濫想定区域の該当の有無	
		<input type="checkbox"/> 該当	<input type="checkbox"/> 該当なし
雨水出水浸水想定区域 （雨水出水）	<input checked="" type="checkbox"/> 該当なし	<input type="checkbox"/> 該当 最大浸水深	
		浸水継続時間	
高潮浸水想定区域 （高潮）	<input checked="" type="checkbox"/> 該当なし	<input type="checkbox"/> 該当 最大浸水深	
		浸水継続時間	
津波災害警戒区域 （津波）	<input checked="" type="checkbox"/> 該当なし	<input type="checkbox"/> 該当 基準水位	
		最大浸水深	
		津波到達時間	

土砂災害

土砂災害特別警戒区域 土砂災害警戒区域	<input type="checkbox"/> 該当なし	<input checked="" type="checkbox"/> 該当（以下の該当する分類に <input checked="" type="checkbox"/>)
		<input type="checkbox"/> がけ崩れ（急傾斜地の崩壊）
		<input type="checkbox"/> 土石流
		<input type="checkbox"/> 地すべり（地滑り）

● 計画の報告

計画を作成又は必要に応じて見直し・修正をしたときは、遅滞なく、当該計画を市町村長へ報告する。

● 計画の見直し

避難訓練の結果や社会情勢の変化に伴い、定期的に見直すものとする。

4 防災体制

【防災体制確立時の組織構成と役割分担】

レベル	統括指揮者 ※全体を指揮			情報連絡班 ※情報収集や伝達			避難誘導班 ※幼児・児童・生徒の避難支援			装備品等準備班 ※設備や装備品等の点検・準備		
	責任者	人数	名	責任者	人数	名	責任者	人数	名	責任者	人数	名
警戒レベル 1 ↓ 災害への心構えを高める段階												
警戒レベル 2 ↓ 注意体制												
警戒レベル 3 ↓ 警戒体制												
警戒レベル 4 ↓ 非常体制												

防災体制一覧表 ⇒様式12

警戒レベル1 ↓ 災害への心構えを高める段階	・警報級の可能性(大雨警報または暴風警報)「中」または「高」が発表された場合 ・台風の接近が予想されている場合
警戒レベル2 ↓ 注意体制	・大雨注意報が発表された場合
警戒レベル3 ↓ 警戒体制	・高齢者等避難が発令された場合 ・大雨警報が発表された場合
警戒レベル4 ↓ 非常体制	・避難指示が発令された場合 ・土砂災害警戒情報が発表された場合

● 事前休業の判断について

事前休業の判断基準となる防災気象情報等

※開業時間と幼児・児童・生徒の通所にかかる時間も考慮して、休業の判断をする。

5 情報収集・伝達

(1) 情報収集

収集する主な情報及び収集方法は、以下のとおりとする。

様式 3

	収集すべき情報	入手先
共通の 情報	【防災気象情報(気象庁)】 ・早期注意情報(警報級の可能性)	
	【避難情報(市町村)】 ・警戒レベル3 高齢者等避難 ・警戒レベル4 避難指示 ・警戒レベル5 緊急安全確保	
	【避難所の開設状況(市町村)】 指定緊急避難場所や 福祉避難場所の開設状況	
	道路の通行止め情報	
土砂災害	・大雨注意報、大雨警報、大雨特別警報 ・土砂災害警戒情報 ・土砂キキクル(大雨警報(土砂災害)の危険度分布)	・テレビ、ラジオ、気象庁HP ・テレビ、ラジオ、気象庁HP、都道府県のHP ・気象庁HP

(2) 情報伝達

警戒レベル	対象情報	主な入手先	伝達内容	情報伝達の流れ	
				発信者	情報伝達先
警戒レベル 1					
警戒レベル 2					
警戒レベル 3					
警戒レベル 4					

利用者緊急連絡先一覧表 ⇒様式8

緊急連絡網 ⇒様式9

外部機関等の緊急連絡先一覧表 ⇒様式10

7 避難に必要な設備の整備

様式 5

避難誘導の際に使用する設備等については、下表に示すとおりである。これらの設備等については、日頃からその維持管理に努めるものとする。

避難に必要な設備等			
分類	設備等	数量	設置場所、保存場所
通常の設備	エレベーター		
	上下階の移動のできる大型スロープの設置		
	車椅子		
	その他()		
緊急時の設備	停電対策としての非常用電源の設置		
	土のう		
	止水板		
	階段昇降機の設置		
	その他()		

8 避難に必要な装備品や備蓄品の整備

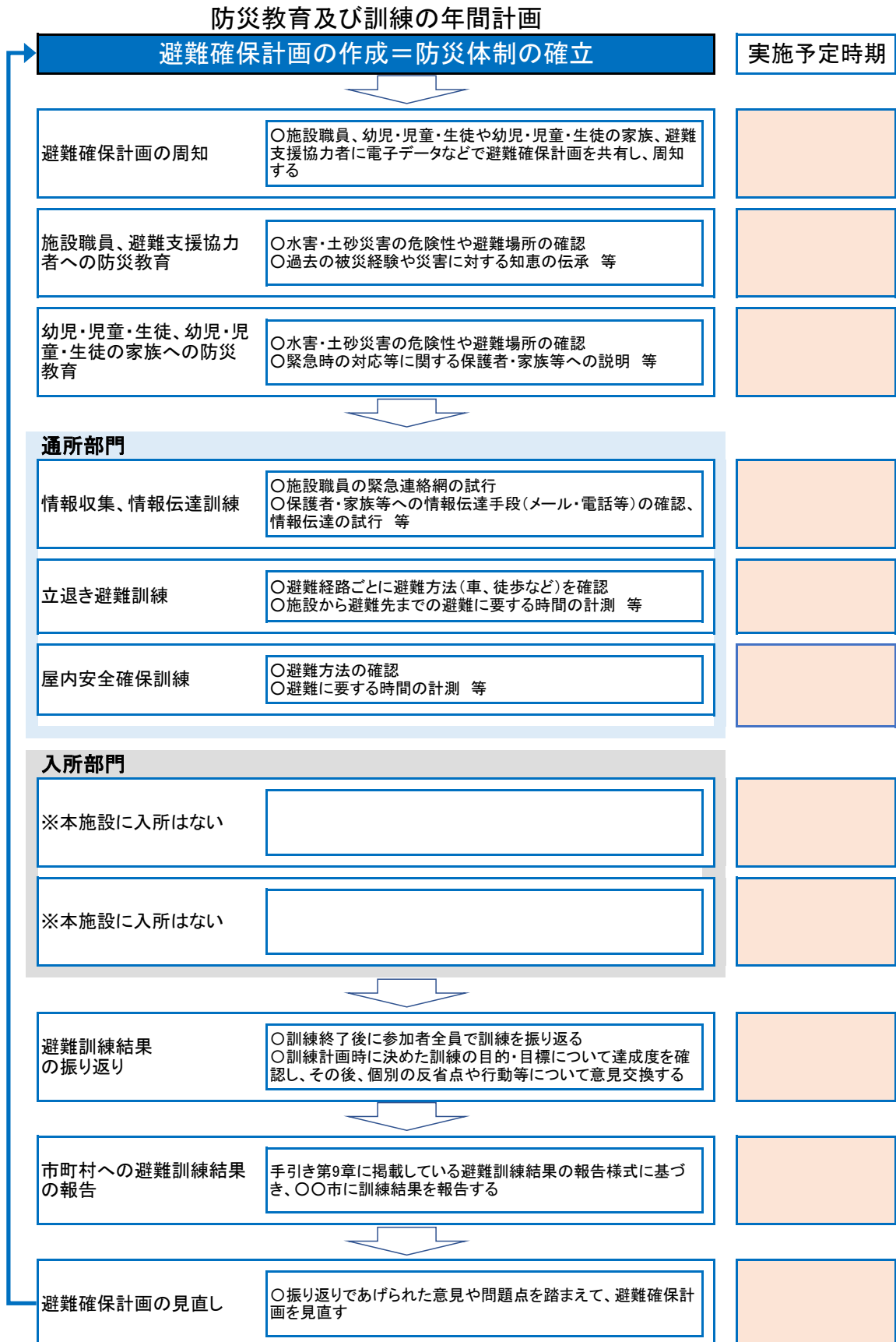
避難に必要な装備品や備蓄品等の例については、下表に示すとおりである。これらの装備品や備蓄品等については、日頃からその維持管理に努めるものとする。

避難に必要な装備品や備蓄品等			
分類	装備品や備蓄品等	数量	設置場所、保存場所
情報収集・伝達	テレビやラジオ		
	インターネットに接続したパソコンやタブレット端末		
	電話やファックス		
	携帯電話やスマートフォン		
	電池や非常用電源		
避難誘導	名簿(幼児・児童・生徒)		
	案内旗		
	ピブス		
	懐中電灯		
	ハンドマイク		
	雨具		
	ライフジャケットやヘルメット		
	避難ルートを示したマップ		
	救急用品		
	移動用の車両		
避難先	水や食糧		
	衛生用品や衣料品		
	電池や携帯充電器		
その他			

既存の消防計画等がある場合は、それに追加してもよい。

様式 6

9 防災教育及び訓練の実施に関する事項



既存の名簿等がある場合は、それを用いてもよい。

様式 8

11 利用者緊急連絡先一覧表

既存の名簿等がある場合は、それを用いてもよい。

12 緊急連絡網

様式9

既存の名簿等がある場合は、それを用いてもよい。

13 外部機関等の緊急連絡先一覧表

様式10

既存の名簿等がある場合は、それを用いてもよい。

14 対応別避難誘導一覧表

様式11

既に防災体制を確立している場合は、それを活用してもよい。

様式12

15 防災体制一覧表

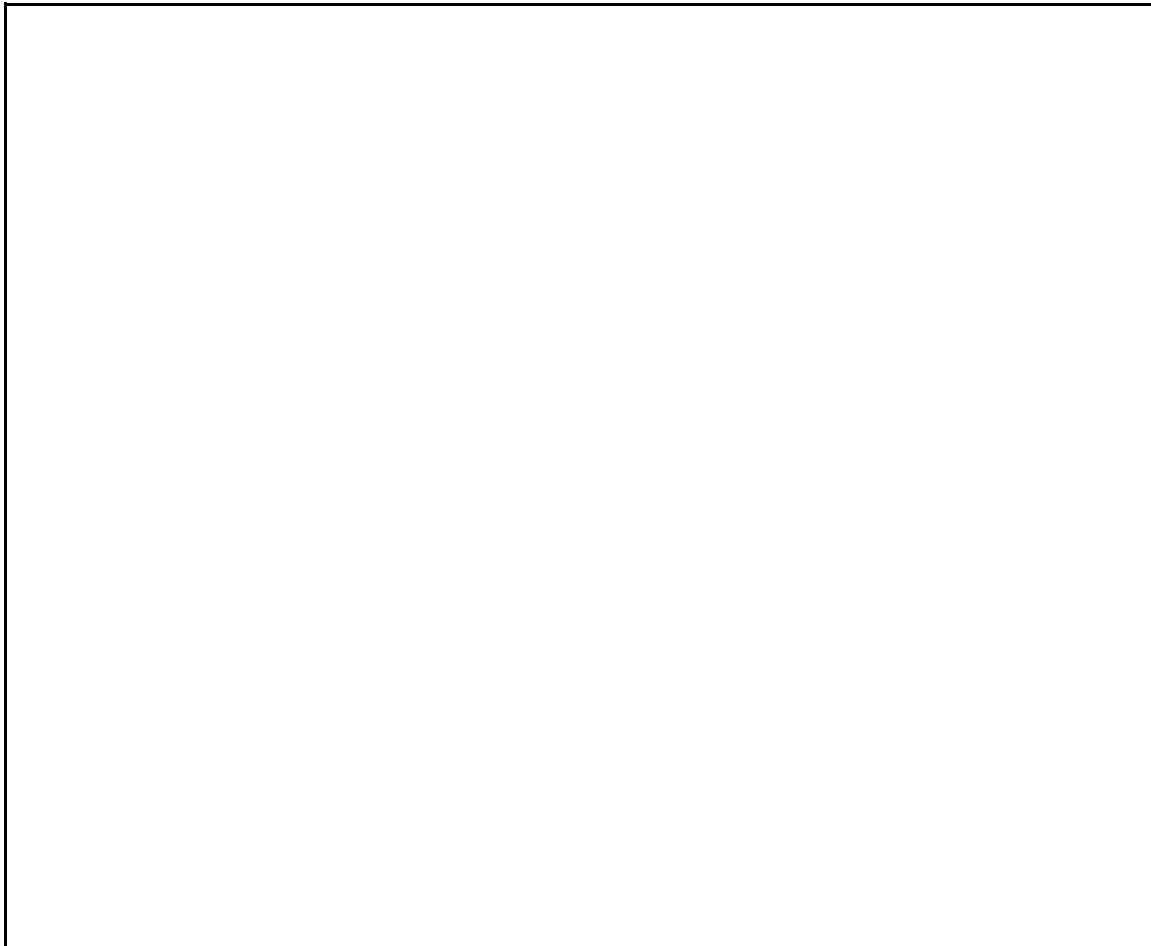
統括指揮者 () (代行者)

情報連絡班	役割		担当者名
		責任者	
	・気象情報等収集		
	・施設職員への情報伝達		
	・気象情報、水位情報、避難情報、避難先情報等の収集		
	・施設職員や避難支援協力者へ連絡		
	・気象情報、水位情報、避難情報等の収集		
	・幼児・児童・生徒家族等への連絡		
	・市町村等への連絡		
			人数()名
避難誘導班	役割		担当者名
		責任者	
	・避難誘導体制の確認		
	・避難ルートの確認		
	・避難誘導開始		
	・避難完了の確認		
	・避難先での幼児・児童・生徒支援		
	□緊急安全確保の誘導)		
			人数()名
装備品等準備班	役割		担当者名
		責任者	
	・避難に必要な設備や装備品、備蓄品、避難先への持ち出し品等を点検し準備		
	・移動用車両の手配		
	・要配慮者等の装備品の装着		
	・移動用車両の確保		
	・避難先への持ち出し品等を運搬		
	・避難先での持ち出し品等の管理		
			人数()名

【避難先までの避難経路図】

土砂災害の発生時の避難先、避難経路は以下のものとする。

	立退き避難					
	避難先 1	避難に要する時間	避難先 2	避難に要する時間	避難先 3	避難に要する時間
土砂災害						



※施設の位置、避難先の位置、避難方法(徒歩、自動車等)、避難に要する時間等を記載してください。
避難先は、避難訓練等により避難できることを確かめ、必要に応じ見直しするものとする。

ご自身の施設における避難に必要な行動を時系列順に整理したタイムラインを確認しましょう。

施設型タイムラインの設定	統括指揮者 ※全体を指揮	情報連絡班 ※情報収集や伝達	避難誘導班 ※幼児・児童・生徒の避難支援	装備品等準備班 ※設備や装備品等の点検・準備
防災気象情報、避難情報				
■早期注意情報 (警報級の可能性) 警戒レベル1				
■大雨注意報 警戒レベル2 ■洪水注意報 ■高潮注意報				
■高齢者等避難 警戒レベル3 ■洪水警報 ■氾濫警戒情報 ■高潮注意報 ■大雨警報(土砂災害)				
■避難指示 警戒レベル4 ■氾濫危険情報 ■高潮警報 ■高潮特別警報 ■土砂災害警戒情報				
■緊急安全確保 警戒レベル5 ■大雨特別警報 ■氾濫発生情報				